

# 高退互広報

退職会員配布

第102号

令和3年12月9日

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49番10号 愛知県教育会館5F TEL (052) 261-2248 FAX (052) 241-0318  
\*ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> (高退互で検索)

大切な情報や事務局からのお願いを掲載しています。最後までお読みください。

## 第256回 理事会

第256回理事会が11月18日(木)に開催されましたので  
概要を報告いたします。

### 十分な責任準備金が確保され、経常収支は堅調

- ★ 給付率は従来通りで、また出資金額は変更なし
- ★ 第3回制度・財政検討委員会での検討結果が承認されました

第256回理事会では療養補助金給付事業について審議され、10月29日に開催された制度・財政検討委員会での意見も踏まえ、「令和4年度出資金の額は従来どおり89万円(60歳基準)」、給付率も従来どおり「定額控除後の7割給付とする」ことが承認されました。また、中間決算について承認され、本会の財務状態は堅調に推移していることが報告されました。

その他本年度の厚生事業(人間ドック補助事業)等についても報告・審議され、来年度も会員事業を実施することなどが承認されました。

また、制度・財政検討委員会での「本会の制度的あり方」についての検討結果が報告され、現在の現職会員の掛金控除に関する業務については、自前でのシステム開発を進めて対応すること並びに、他の検討結果についても承認されました。(理事会での報告事項等 2頁に続く)

## 制度・財政検討委員会の報告(その1)

昨年に引き続き制度・財政検討委員会が設置され、諮問事項である「後期高齢者の医療費自己負担2割となる医療制度改革に対応する本会の制度的あり方」を中心に審議されました。

第3回制度・財政検討委員会(10月29日)での審議概要は以下の通りです。

<議事説明についての概要>

### (1) 給付原資の現状分析及び将来見通しについて

- ①退職会員は約1万人となったが、現職会員は50代後半が多く、会員数は毎年減少している。
- ②制度改定による責任準備金の増加額は完全実施時の試算で約1.8億円となった。  
また、年間の療養補助金給付額が約5,000万円増加すると見込まれた。
- ③近い将来60代の退職会員の激減が見込まれ、令和5年度からは定年延長が始まる。  
この定年延長のため奇数年度には定年退職者のない年度が5回訪れる。
- ④管理費を中心とした経常費用については三菱UFJ信託銀行との新たな契約や医療制度改定に伴う新たなシステム修正などのため、減価償却費、事務補助費、並びに支払手数料が大幅に増加する。特に退職準備事業の三菱UFJ信託銀行への支払手数料は毎年約830万円必要となり退職準備事業会計を圧迫することになる。

### (2) 資産運用及び将来見通しについて

国の超低金利政策が続けば運用益は出なくなり、将来的には管理費等を賄うことが困難となる。

### (3) 国の医療制度の改定に対応した本会の制度のあり方について

・本会制度としての出資金と間差額についての検討を行い、本年度と同額とすることとなった。

以下、検討項目

- ①責任準備金の増加について
- ②療養補助金を除く退職互助事業について
- ③療養補助金の給付のあり方についての決定時期について (検討結果等を2頁に掲載)